

団体名	千葉県教育委員会
-----	----------

【事業概要】

1. 事業実施前の現状と課題

市川・船橋地域には、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由などに対応する特別支援学校が複数設置され、それぞれの専門性を生かして地域支援を行っている。

また、市川市及び船橋市はともに市教育委員会の事業として、巡回相談員等を雇用して小・中学校等における特別支援教育推進のための指導助言に当たっている。

両市には、市立と県立の特別支援学校があり、地域や障害種に対応して小・中学校等への指導・助言に当たっているため、役割分担や連携が必要である。

さらに、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室では、若手教員の増加に伴い、教職員の専門性の維持・向上が喫緊の課題となっている。

一方、小・中学校等では、市の巡回相談員、県の特別支援アドバイザー、市立・県立の特別支援学校の地域支援等を活用しながら特別支援教育を推進している中で、継続的・長期的な専門家の派遣・支援を望む声が多いが、希望通りの派遣は難しい状況である。

各学校の課題は、以下のとおりである。

○県立船橋特別支援学校（肢体不自由）

中学校における通級による指導の時間を確保すること及び高等学校へ進学した際の指導の連続性。

○県立市川特別支援学校（知的障害）

他機関との連携。中学校、高等学校からの相談件数の少なさ。外部人材活用の仕組みづくり。

○県立千葉聾学校

聴覚障害についての更なる理解啓発と他機関との連携。

○県立千葉盲学校

県内唯一の盲学校として、指導の充実と連携の強化。通級による指導を全県に展開していくことが必要。

○船橋市立船橋特別支援学校（知的障害）

特別支援教育コーディネーターの専門性の向上、後継者の育成。校内の専門性の向上。

○市川市立須和田の丘支援学校（知的障害）

特別支援教育コーディネーターの専門性の向上。分校との連携、校内の専門性の向上。

2. 事業を通じて得られた成果と課題

<成果>

○各学校では、校内の教職員の専門性を高めるために、臨床心理士、作業療法士等の専門性を有する外部人材を活用し、教育相談や研修会等を実施し、専門的な見地から助言を受け、指導・支援に生かすことができた。

○ネットワーク連携協議会を開催し、各特別支援学校が提供できる支援について機能別に分類し、関係者間で共有することができた。

○地域支援について、要請を待つだけでなく積極的に働きかけ、ニーズを掘り起こすことができた。

<課題>

- ◇各特別支援学校は地域のセンターとしての役割を果たすために様々な取組を行ってきているが、一部の教職員に限られている。
- ◇特別支援学校のセンター的機能についての小・中学校等への周知が不十分な面がある。
- ◇特別支援学校の地域支援をより気軽に活用するための方策を考えることが必要である。
- ◇小・中学校等への支援内容が応用されず、支援要請が続く。
- ◇小・中学校等と特別支援学校の教職員がより連携できる取組が必要である。

3. 解決策（次年度の取組等）

以上のような今年度の成果と課題を踏まえ、次年度は以下のような取組を行う。

① 特別支援学校としての専門性を強化

- ・各特別支援学校の障害種の違い、校内や地域のニーズ等に応じて、臨床心理士、作業療法士、システムエンジニア等の外部人材を配置・活用し、専門的な視点を生かして指導方法の改善を図る。
- ・外部人材を配置・活用して、研修会を実施し、教職員個々の専門性の向上を図るとともに、学校全体の専門性の向上を図る。
- ・外部人材の活用方法について、ガイドブックを作成し、全県に配布する。
- ・特別支援学校間の連携を強めて、教育内容・方法、教材・教具等についての情報の共有・活用を図り、特別支援学校における幼児児童生徒の障害の重度・重複化に対応した教育を一層充実させる。
- ・先進的な取組をしている学校等の参観や研究会への参加、あるいは自校の実践を発表して研修を深めることにより、専門性の向上に努める。

② 特別支援学校間での役割分担

- ・特別支援学校間のネットワークを構築し、各特別支援学校が有する機能や強みを生かし、連携して行う取組を企画し、小・中学校等に対して効果的な支援を行う。
- ・小・中学校等への効果的な支援内容・方法等について情報交換を行う。

③ 地域内の小・中学校等を支援

- ・特別支援学校の支援機能について整理するとともに、利用ガイドブックを作成し、小・中学校等への周知を図る。
- ・外部人材を小・中学校等に派遣し、特別支援学校のセンター的機能の一層の充実を図る。
- ・小・中学校等の特別支援教育推進の中核となる教員の育成プログラムについて研究し、特別支援学校のコーディネーターと連携しながら小・中学校等の特別支援教育の更なる推進を図る。
- ・特別支援学校の教員は外部人材の派遣に同行し、小・中学校等の現状を把握し、小・中学校等への支援（環境整備、実態把握の方法、指導方法等）を行う。

【推進地域及び指定校一覧】

推進地域	指定校	
船橋市・市川市	1	県立船橋特別支援学校
	2	県立市川特支援学校
	3	県立千葉聾学校（サテライト教室）
	4	県立千葉盲学校（サテライト教室）
	5	船橋市立船橋特別支援学校
	6	市川市立須和田の丘支援学校